

東芝テック株式会社 静岡事業所(三島) サイトレポート情報

所在地 : 静岡県三島市南町6-78

敷地面積 : 49,646m²、建家面積 : 58,907m²、緑化率16.6%*規制対象外

設立 : 1963年1月、従業員 : 922名 (2018年3月現在)

主要製品 : 通信機器(MFP/複合機)、トナー、インクジェットヘッド

ISO14001認証取得 : 1997年3月、最新更新年月 : 2017年04月
4MS統合更新審査 (ISO認証番号 : JQA-E-80030)



ごあいさつ

当サイトは、「水と緑と人が輝く夢あるまち・三島」に立地しており、この環境を健全な状態で次世代に引継ぎ、「かけがえのない地球環境」を守ることが基本的責務であるとの認識にたつて、東芝テックグループの経営理念及び行動基準に基づき行動しています。また、当事業所は、MFP及び関連装置、記録材料、インクジェットヘッド及び関連装置、プリンター、イメージスキャナ等の設計・開発及び製造などの事業活動を行っており、これらによる環境に対する影響を低減するため環境保全活動を推進しています。



環境保全責任者 渡田信一

2017年度の環境の主な取組み

☆ ISO14001環境マネジメントシステム

1997年3月に認証取得。2018年3月、プレミアム審査を受審し、認証継続完了

☆ 環境保全体制の充実

法令、条例の遵守。現場管理の強化

☆ エクセレント ECP 製品の開発

高効率IH定着器と低温定着トナーによりTEC値クラスNo.1、立体レーザー溶接フレームにより本体質量最軽量No.1を達成

☆ CO2排出量の削減

CO2 (エネルギー) 排出量 : 2013年度比 100.9%達成 (目標 118.1%以下)

☆ 廃棄物ゼロエミッションの継続

廃棄物総発生量 : 2013年度比 96.4%達成 (目標 141.1%以下)、最終処分率 : 0.04%

☆ 化学物質排出量の削減

化学物質の排出量 : 2013年度比 78.2%達成 (目標 100.0%以下)、化学物質の取扱量 : 2013年度比 107.6% (目標144.0%)

☆ 全員参加・啓発活動の展開

環境月間・3R推進月間・省エネ月間時の環境啓発活動、等

☆ 地域との協調

各種環境行事参加 : 市営公園の奉仕活動、ノーカーデー参加等

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



【 MFP/複合機 】



【 トナー 】



【 インクヘッド 】

東芝テック(株) 静岡事業所(三島)
㈱テックプレジジョン、東芝テック画像情報システム㈱

IMS基本方針及び行動基準

【序文】

「水と緑と人が輝く夢あるまち・三島」に立地している静岡事業所(三島)を中心として、各組織が一丸となって「かけがえのない地球環境」を守り、次世代に引き継ぐことを責務として、「人を大切にします」「豊かな価値を創造します」「社会に貢献します」という東芝グループ経営理念に基づき、エレクトロニクスを応用した社会に貢献するビジネス機器分野を中心に事業展開して行きます。

私たちは、IMS及び各MSの基本方針を守り、お客様・地域の皆様・従業員の満足と企業価値の向上に努めます。

そのために、品質・環境・労働安全衛生・情報セキュリティの統合マネジメントシステムを構築・維持することにより、相乗効果を創出し、バランスの取れた継続的改善に取り組みます。

【IMS基本方針】

1. 統合された目標を達成するための統合マネジメントシステムを維持し更に向上する。
2. 目標設定にあたっては、個々の最適化から全体最適化を図り、バランスの取れた目標を設定して、継続的な改善に取り組む。
3. 目標達成に向けて、リソースを効率的に運用すると共に、社会の動向や事業環境の変化に対し柔軟に対応する。
4. 事業を展開する国内外の法規制、お客様との契約、社内外の規程・規範を遵守する。

2017年8月1日

東芝テック株式会社 静岡事業所
事業所長

石井 幸雄

東芝テック株式会社 静岡事業所 環境基本方針

環境経営の重要な柱として、Green Management, Green of Product, Green of Process, Sustainability を掲げ、環境対応に積極的取り組み、業務分野での環境負荷低減に貢献します。

(1) Green Management

- ・事業活動、製品、サービスに関わる環境的側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、環境汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動への適応、生物多様性の保全に関する環境目標を設定・推進します。
- ・監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善・向上を図り、定期的な見直しを行います。
- ・環境に関する法律・条例及び規範として受入れを決めた要求事項、自主基準などを遵守します。
- ・社員一人ひとりが環境活動を推進できるように、環境教育・啓蒙活動を展開し、環境マインドを高めます。
- ・環境方針、環境活動について広く社内外へ積極的に公開します。
- ・行政、地域、関係団体などと協働し、社会全体の環境活動に参画・協力します。

(2) Green of Product

- ・環境性能No. 1を追求し、エクセレントECPの創出と普及拡大をめざします。
- ・グローバルに環境調和型商品を提供するため、環境に配慮した材料・製品のグリーン調達および省資源、省エネルギー、特定化学物質全廃設計によりライフサイクルを通じた環境負荷の低減を推進します。
- ・使用済み製品の回収・リサイクルや部品の再使用などで、循環型社会構築に貢献します。

(3) Green of Process

- ・地域性に配慮し、省資源・省エネルギー、水資源、化学物質の適正管理に取り組み、環境に配慮した生産・サービスを行います。
- ・「モノ割り」や物流・業務の効率化により、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現を目指します。

(4) Sustainability

- ・優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協働連携により、環境活動を通じて持続可能な社会へ貢献し、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

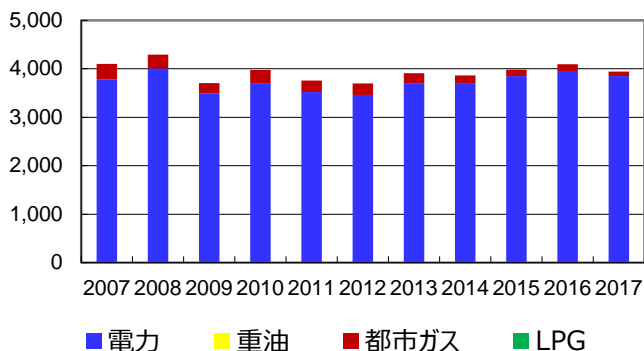
2017年 08月 01日

東芝テック株式会社 静岡事業所

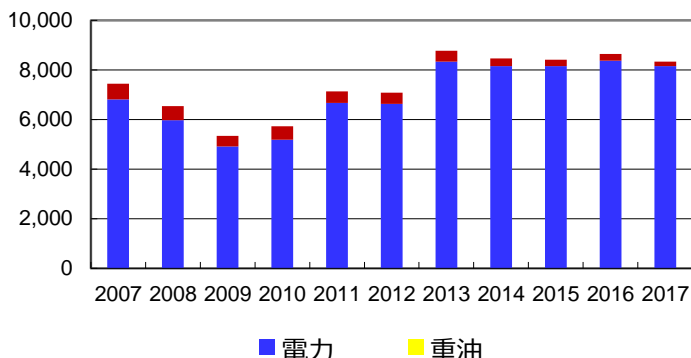
事業所長 石井 幸雄

環境負荷データ

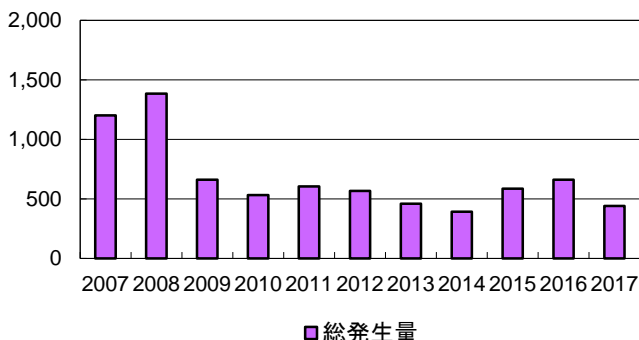
エネルギー使用量 (単位: K L)



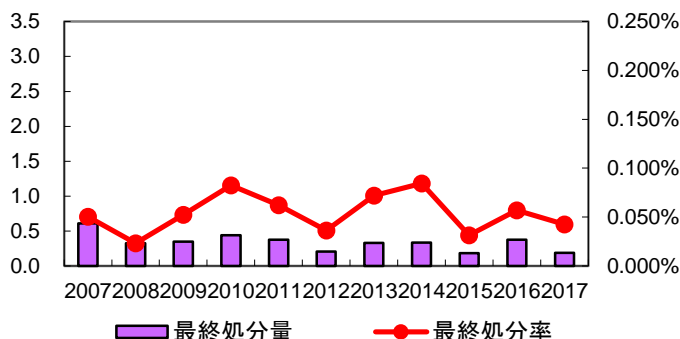
CO₂排出量 (単位: トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位: トン)

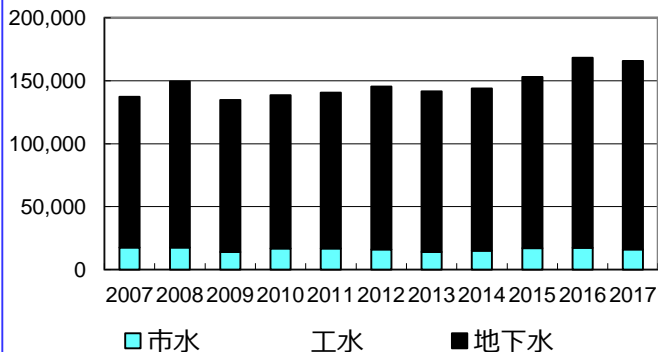


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: トン, %)

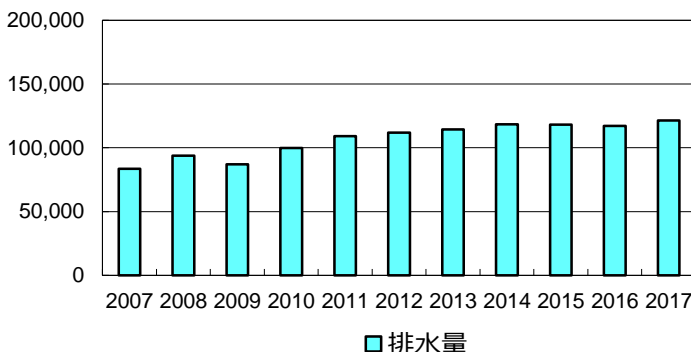


主な廃棄物名: 紙類 (評価紙・ダンボール等)、プラスチック、金属、ガラス、木屑、廃油、汚泥等

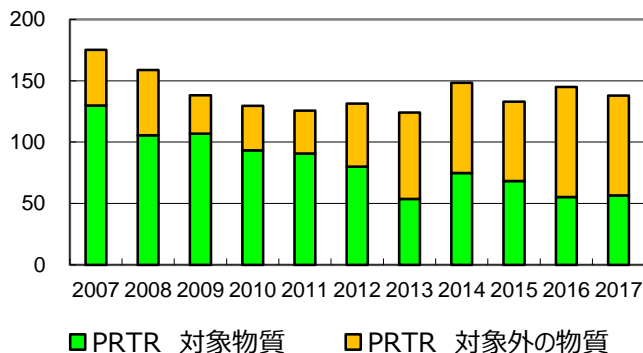
水の使用量 (単位: 千m³)



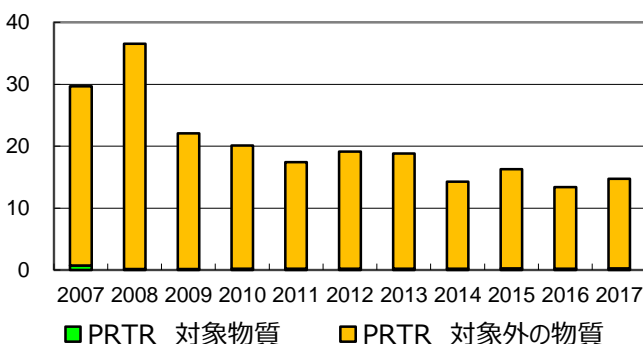
排水量 (単位: 千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移 (トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移 (トン)



主な化学物質: IPA、マンガン、エタノール、トルエン、スチレン

遵法管理状況

<大気測定結果> 対象施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	—	—	—	—
SOx(Nm3/h)	—	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	—	—	—	—

<排水測定結果> (排水処理場施設(最終放流口から公共下水道へ放流))

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7(三島市協定値)	6.0~8.5	7.3	年2回
BOD (mg/l)	300 (三島市協定値)	150	6.0	年2回
COD (mg/l)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS (mg/l)	300 (三島市協定値)	150	10	年2回
窒素 (mg/l)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素 (mg/l)	8 (水濁法)	3	0.2	年2回

<騒音・振動測定結果> (特定施設(騒音 40施設(送風機、コンプレッサ、空気調和機)、振動 11施設(コンプレッサ)))

	測定場所：時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音 (dB)	敷地境界：昼	55dB	55dB	49.5dB	2回
	敷地境界：夜	45dB	45dB	44.5dB	2回
振動 (dB)	敷地境界：昼	55dB	55dB	41.6dB	1回
	敷地境界：夜	50dB	50dB	43.9dB	1回

<その他測定結果> (下水道法：主な測定結果) 対象なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD (mg/l)	—	—	—	—
SS (mg/l)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	有り：1件（屋外設置の仮設コンプレッサの騒音）※対応済

環境コミュニケーションの紹介

<楽寿園環境整備・清掃奉仕活動>

毎年 環境月間の6月に合わせて三島市からの呼びかけにより、市内主要道路のゴミ拾いを06年から参加して来ました。三島市が進める「花と言う癒しの彩りを添える事で三島の魅力を高め済みたい、訪れたい」と感じてもらえるまちづくり、『ガーデンシティみしま』事業の一環として市営公園 楽寿園(らくじゅえん)の環境整備として参加しました。

2017年度から新入社員の方にも多く参加いただき、企業のCSR活動の取り組みを理解して頂くためにもよい活動になっています。今後も事業推進のため継続して参加していく予定です。

(実施概要)

(春の清掃奉仕活動)

- ・日 時: 2017年5月20日(土)
- ・参加人数: 33名
- ・内 容: 市営公園での花苗植付けと園内ゴミ拾い草取り



<事業所周辺の清掃活動>

最寄駅から事業所までの通勤ルート(田町駅ルート、広小路駅ルート、事業所周辺ルート)間を、手分けして清掃を実施しています。

地域住民からも喜ばれており、今後も継続していく予定です。

(実施概要)

- ・日 時: 2017年12月05日(火)
- ・参加人数: 73名
- ・内 容: 事業所周辺のごみ拾い



生物多様性の保全への取り組み

<ミシマ柴胡の育成>、<三島サイト池 メダカのビオトープ化>

第5次アクションプランの生物多様性の取組については、事業所を起点とした地域連携による生態系ネットワークの構築を進めていきます。東芝テックでは本社の主導のもとで、各サイト共に生物多様性の保全への取り組みを進めています。

2017年度も継続してミシマ柴胡(絶滅危惧Ⅱ類(VU)の植物、離弁花類、セリ科)の保護に努めています。

また、三島サイト内の池を絶滅危惧種である黒メダカも保護しており、順調に増えています。

<黒メダカ>



<ミシマ柴胡>



環境目標

2018年度のサイトの主な環境目標

推進項目	指標	2018年度目標
地球温暖化の防止	CO2総排出量 2013年度基準	97.3%以下 ※総排出量見込：8,528.0t-CO2
	水受入量（使用量） 2013年度基準	122.9%以下 ※使用量見込：174,081m ³
資源の有効活用	最終処分率	0.09%以下
	廃棄物総発生量 2013年度基準	141.9%以下 ※総発生量見込：650.2t以下
化学物質管理	化学物質取扱量 2013年度基準	128.0%以下 ※取扱量見込：151.1t
	大気・水域への排出量 2013年度基準	91.0%以下 ※排出量見込：15.2t

環境目的

2020年度のサイトの主な環境目的

推進項目	指標	2020年度目標
地球温暖化の防止	CO2総排出量 2013年度基準	100.3%以下 ※総排出量見込：8791.5t-CO2
	水受入量（使用量） 2013年度基準	128.4%以下 ※使用量見込：181,861m ³
資源の有効活用	最終処分率	0.06%以下
	廃棄物総発生量 2013年度基準	144.5%以下 ※総発生量見込：663.7t以下
化学物質管理	化学物質取扱量 2013年度基準	120.8%以下 ※取扱量見込：155.1t
	大気・水域への排出量 2013年度基準	82.4%以下 ※排出量見込：15.5 t